

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2024年	5月	16日	(記入者) 鶴田吉範	
取材参加者	石井	垣内	喜多	久門	島田
	鶴田	三谷	横山		
取材対象先	天川村：天河大辨財天社薬師堂の薬師如来坐像				

所在地	吉野郡天川村坪内86				
所有者(取材 対応者)名	所有:天河大辨財天社	** 区長 ** 天河大辨財天社 0747-63-0558			
	対応:坪内区** 区長	PCアドレス ー			
取材申込	申込先：天河大辨財天社 柿坂匡孝(まさたか) 宮司				
市町村指定 文化財	彫刻	1 軀	薬師如来坐像 1994(平成6)年6月6日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	木彫、彩色、保存状態も良く室町期の優品である。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	薬師堂内に火災警報ベルは設置されている。近隣に、管理されている柿坂区長自宅や民家もあり、万一の場合には対応できる状況にはある。	堂内に消火器が見当たらず、未設置であれば設置を望みたい。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	お堂の戸締りもしっかりされており、又、民家の近くでもあり、獣害被害の懸念はない。	特になし。
保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策	本像は欠損部分も見受けられず保存状態がよく、白い彩色もよく残っている。明治の廃仏毀釈から守り、地域の方々が今でも大事にされているのが強く感じられた。所有は天河大辨財天社となるが、管理は坪内区の方々がされている。現状は大きな課題となるものはない。引き続き本像を守り続けていただきたい。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

本像の安置されている薬師堂は、再建され40年以上経つお堂であり現状は傷み等は見受けられなかったが、今後の修繕も必要になると思う。又、地域の過疎化や高齢化により管理の面も気になるところ。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2024年	5月	16日	(記入者) 鶴田吉範	
取材参加者	石井	垣内	喜多	久門	島田
	鶴田	三谷	横山		
取材対象先	天川村：天河大辨財天社薬師堂の薬師如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 薬師如来坐像

文化財 (正面)	文化財 (角度を変えて)
	
文化財 (安置状態の全体写真)	薬師堂 (正面)
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入
<p>本像は天河大辨財天社伽藍の一つ、薬師堂の本尊である。薬師像の存在は室町期にすでに見られており、木彫り、彩色、保存状態もよく室町後期の作が濃厚と考えられている。像高は31cm。本像は明治初めの廃仏棄釈以来、民家に長らく保存されていたが、昭和56年12月薬師堂の復興と共に同堂に安置されるようになった。</p> <p>(天川村HP文化財一覧より)</p>	<p>天河大辨財天社は水の精、弁財天女を祀り、芸能の神様としても有名で、ご祭神は中央に弁財天、右に熊野権現、左に吉野権現がお祀りされている。神仏習合の形態を今も残し、大峯修行の要の行場ともされている。本像が安置されている薬師堂は、天河大辨財天社本宮から北側に少し離れた民家の中に、ひっそりと佇むお堂で、近隣の在家一同と天河大辨財天社の資金により1981(昭和56)年12月に再建された。</p>